

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●オークスはシンハライトが人気に応じて勝利

5月22日(日)の優駿牝馬(オークス/G I)では1番人気のシンハライト(牝3歳/栗東・石坂正厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。桜花賞2着馬のオークス制覇は2005年のシーザリオ以来11年ぶり12頭目のこと。なお2着には2番人気のチェックイノが入り、枠連の払戻金300円は、同式別におけるオークス史上最低の払戻金額となりました。

### ●栗田博憲調教師がJRA通算600勝を達成

5月21日(土)の1回新潟7日・第5レースではトモジャハリーフが1着となり、同馬を管理する栗田博憲調教師(美浦)は、現役13人目となるJRA通算600勝(6444戦目)を達成しました。

### ●本田優調教師がJRA通算200勝を達成

5月21日(土)の3回京都9日・第8レースではグレイスマイノルが1着となり、同馬を管理する本田優調教師(栗東)は、現役105人目となるJRA通算200勝(2594戦目)を達成しました。

### ●丸山元気騎手が1回新潟リーディングジョッキーに輝く

5月22日(日)をもって1回新潟競馬が終了し、この開催で5勝・2着5回の成績をあげた丸山元気騎手(美浦・根本康広厩舎)が、5勝・2着3回の北村友一騎手をおさえ、2010年以来2回目となる春の新潟競馬リーディングジョッキーに輝きました。

### ●重賞ウイナー3頭の競走馬登録抹消

2013年中日新聞杯(G III)勝ち馬サトノアポロ(騾8歳/美浦・国枝栄厩舎/JRA通算22戦5勝)、2015年京成杯オータムH(G III)勝ち馬フラインジェリコ(牡8歳/美浦・斎藤誠厩舎/JRA通算42戦6勝)、2013年共同通信杯(G III)勝ち馬メイケイベガスター(牡6歳/栗東・木原一良厩舎/JRA通算21戦3勝)は、5月25日(水)までに競走馬登録を抹消されました。サトノアポロは日本大学で、フラインジェリコは北海道苫小牧市のノーザンホースパークで、メイケイベガスターは中京競馬場で、それぞれ乗馬となる予定です。

### ●レッドディザイアが死亡

5月20日(金)、レッドディザイア(牝10歳)が出産後に腹膜炎を発症し死亡しました。同馬は2009年秋華賞(G I)を制するなどJRA通算10戦3勝・海外4戦1勝の成績を残し、現役引退後は北海道千歳市の社台ファームにて繁殖牝馬として供用されていました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ドレッドノートら大井所属馬3頭が韓国・ソウルに遠征

SBS韓国T(韓国ローカルG III、3歳以上、6月5日、ソウル、1200m)に、大井からキモンアヴァロン、ドレッドノート、ベストウィッシュの3頭が出走を予定しています。

### ●北日本新聞杯(金沢)はバーバリライオン【各地の主要3歳重賞】

北日本新聞杯(5月22日、金沢、1700m)は、後続を引き付けて逃げたバーバリライオン(牡、父オンファイア)がそのまま逃げ切り、単勝1.3倍の支持に応じてJRAから転入以来の連勝を3に伸ばしました。黒潮皐月賞(5月22日、高知、1400m)は、3番手を追走した2番人気の高知2歳王者ブラックビューティ(牡、父タニノギムレット)が、逃げた単勝1.8倍で1番人気のセイエスパーニャを直線で内から差し切っています。

### ●6月1日のさきたま杯(浦和)にJpn I勝ち馬4頭が参戦

さきたま杯(Jpn II、浦和、1400m)は、ベストウォーリア、コーリンベリー、ドリームバレンチノ、ホワイトフーガ、ソルテ(大井)の順に有力視されます。

## ★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

### ●ブリークネスS~エグザジャレイターが直線抜け出す

米三冠第2弾の第141回ブリークネスS(G I、ダート9.5f)は5月21日、東海岸のビムリコ競馬場で行われ、2番人気のエグザジャレイター(牡3歳、父カーリン)が抜け出し、チェリーワインに3馬身½の差をつけて快勝しました。勝利騎手ケント・デザーモ、調教師キース・デザーモ。雨、重馬場の勝ちタイムは1分58秒3L。ケンタッキー・ダービー馬ナイキストは3着。日本のラニ(武豊騎手)は追い込んで5着。当日の入場人員13万5256人はレコード。

### ●愛2000ギニーはオータードが快勝

愛2000ギニー(G I、芝1m)は5月21日にカラ競馬場で争われ、3番人気のオータード(牡3歳、父ケーブクロス)が英2000ギニー馬ガリレオゴールドを2馬身½退け優勝。翌日の愛1000ギニー(G I、芝1m)は、ジェットセッティング(牝3歳、父ファストカンパニー)が英1000ギニー馬のマインディングをアタマ差抑えて勝ちました。

### ●イスペイン賞~エイシンヒカリが10馬身差の勝利

5月24日にシャンティイ競馬場の不良馬場で行われたイスペイン賞(仏G I、芝1800m)は、武豊騎手のエイシンヒカリが2番手から抜け圧勝しました。